

認知症ケアパス

認知症は症状の進行度にあった対処方法や支援が大切です。下の表では、進行度別に、本人の症状や介護をする方の対応、町の支援体制を紹介しています。認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう様々な支援を行っています。

認知症の 進行	正常なレベル	MCI	認 知 症				
	正常	軽度認知障害(MCI)	軽度		中度	高度	
			認知症	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介助が必要	常に介助が必要
記憶面 見当識	●ものの忘れの自覚がある ●「あれ」「それ」「あの人」等という 代名詞が多く出てくる ●何かヒントがあれば思い出せる 		●同じことを何回も聞く ●置き場所がわからず探しまわる ●約束したことを忘れる ●疲れる、音や光に敏感になる ●不安、いらいら、あせり、抑うつ、自信喪失 ●料理がうまくできない ●買い物で小銭が払えない ●考えるスピードが遅くなる。同時に複数のことが処理できない ●気持ちを言葉でうまく伝えられない		●季節に応じた服が選べない ●外出先から家に戻れない ●食べ物をあるだけ食べてしまう ●トイレの場所を間違えて排泄 ●徘徊 ●暴力行為	●歩行が不安定になる ●着替えの動作ができない ●声かけや介護を拒否する ●尿意や便意を感じにくくなる ●飲み込みが悪くなる ●食事に介助が必要になる ●親しい人や家族が認識できなくなる	●言葉が減る ●日中うつらうつらする ●口から飲み物、食べ物が入らない 
			●最近のことを覚えられない、体験したことを忘れる ●時間や日時がわからなくなる		●いつ、どこで、何をしたかなどの出来事を忘れる ●季節、年次がわからなくなる	●過去に獲得した記憶を失い、若い頃の記憶の世界で生きる ●親しい人や家族が認識できなくなる	
介護を する方へ	○なんとなくいつもと違うと感じることが 出てきます ○これまで出来ていたことが少しす づかなくなってきました	○認知症がどのような病気なのか、またその介護につ くまひまをまひま					